学校通信

子安だより

発行日：令和８年１０月３０日
発　行：横浜市立子安小学校
〒２２１－００１３　横浜市神奈川区新子安 1-36-1
TEL　045-421-0993

自分が好き　友だちが好き　学校が好き　まちが好き

みんな頑張っている

副校長　田村　由美子

すっかり秋めいてまいりました。先日の運動会には、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき、子どもたちへ温かい声援を送っていただきました。本当にありがとうございました。運動会を終えて私が改めて感じたのは、「みんな頑張っていたなあ。」ということです。

当日は、どの学年も素晴らしい演技や競技を見せてくれました。子どもたちは、自分たちが声を出すだけではなく、全校や保護者の皆さんまでも巻き込みながら応援を盛り上げていました。また、６ 年生を中心に、一人ひとりが自分の係に責任をもち、運動会を支えていました。その姿からは、「みんなで運動会をつくる。」という強い思いが伝わってきました。

演技では、雨が降るという状況もありながら、子どもたちは笑顔を絶やさず、どの学年もこれまでで最高の表現力を発揮しているように見えました。天候による急な変更についても、どの子もその状況を受け入れ、精一杯取り組んでいました。競技についてもそれぞれのめあてをもって運動会に臨んでいました。そうした一人ひとりの頑張りが積み重なり、赤組と白組は最後まで僅差の勝負を繰り広げました。

もちろん、目立つ場面だけではありません。運動会に向けて前向きな気持ちになれない子もいます。練習は見学していたけれど、本番には参加できた子もいました。一人ひとりが自分なりに折り合いをつけながら、その子なりの一歩を踏み出していました。

しかし、よく考えてみると、これは運動会だけの話ではありません。

子どもたちは毎日、家を出た瞬間から様々なことに向き合っています。友達との関わり、学習、係活動、掃除、我慢することや思い通りにならないこと。その一つひとつの中で、自分の気持ちを調整しながら学校生活を送っています。さらに放課後や休日には、習い事や家族での外出など、それぞれの生活があります。忙しい毎日の中で、子どもたちは私たちが想像する以上に多くのエネルギーを使っています。時には疲れている日もあることでしょう。

そして、ふと考えます。頑張っているのは子どもたちだけでしょうか。保護者や地域の皆様も、仕事や家事、子育てや介護など、それぞれの立場で日々多くの役割を担っていらっしゃいます。私たち教職員も、子どもたちのために何ができるかを考えながら、向き合っています。大人も、周りからは見えにくくても、誰もがそれぞれの場所で精一杯頑張っているのではないでしょうか。

「まだ頑張らなくては。」と自分を追い立てるだけでなく、「今日もよく頑張ったね。」「いつもありがとう。」と、自分自身や周りの人の頑張りを認め合える時間も大切にしたいものです。一生懸命な子どもたちの姿を見ながら、私はそんなことを考えていました。

子どもたちも、保護者の皆様も、地域の皆様も、そして教職員も。それぞれの場所で、それぞれの頑張りがあります。これからの子安小学校が、子どもも大人もそれぞれの頑張りを認め合える場所であり続けることを願っています。